

1 調査の目的

「オレンジタウン構想第2期アクションプラン」の柱である、国立長寿医療研究センター（以下、「長寿研」と言う）を中核とした産学官連携による共同研究を推進する中で、スタートアップの革新的ビジネスアイデアや最先端技術・技能を積極的に活用することにより創出が期待される新たなビジネスモデルの可能性を調査。

2 調査の内容と流れ

- ① 優先的に取り組むべき研究課題開発の抽出
- ② 課題解決に繋がる研究シーズ、革新的ビジネスアイデア、最先端技術・技能の洗い出し
- ③ 共同研究テーマの設定
- ④ 共同研究の開始と事業化に向けたビジネスモデルの検討
- ⑤ 出口戦略を踏まえた経営資源の確保

3 調査の進め方

〔基本コンセプト〕

- ステアリングコミッティ（以下、「SC」と言う）を開催し、その下に各共同研究テーマのワーキンググループ（以下、「WG」と言う。）を位置づける。SCのリーダーは国立長寿医療研究センターの荒井理事長が就任。
- 共同研究の進捗管理のため3年間程度のロードマップを作成。各プロジェクトの見える化を図る。

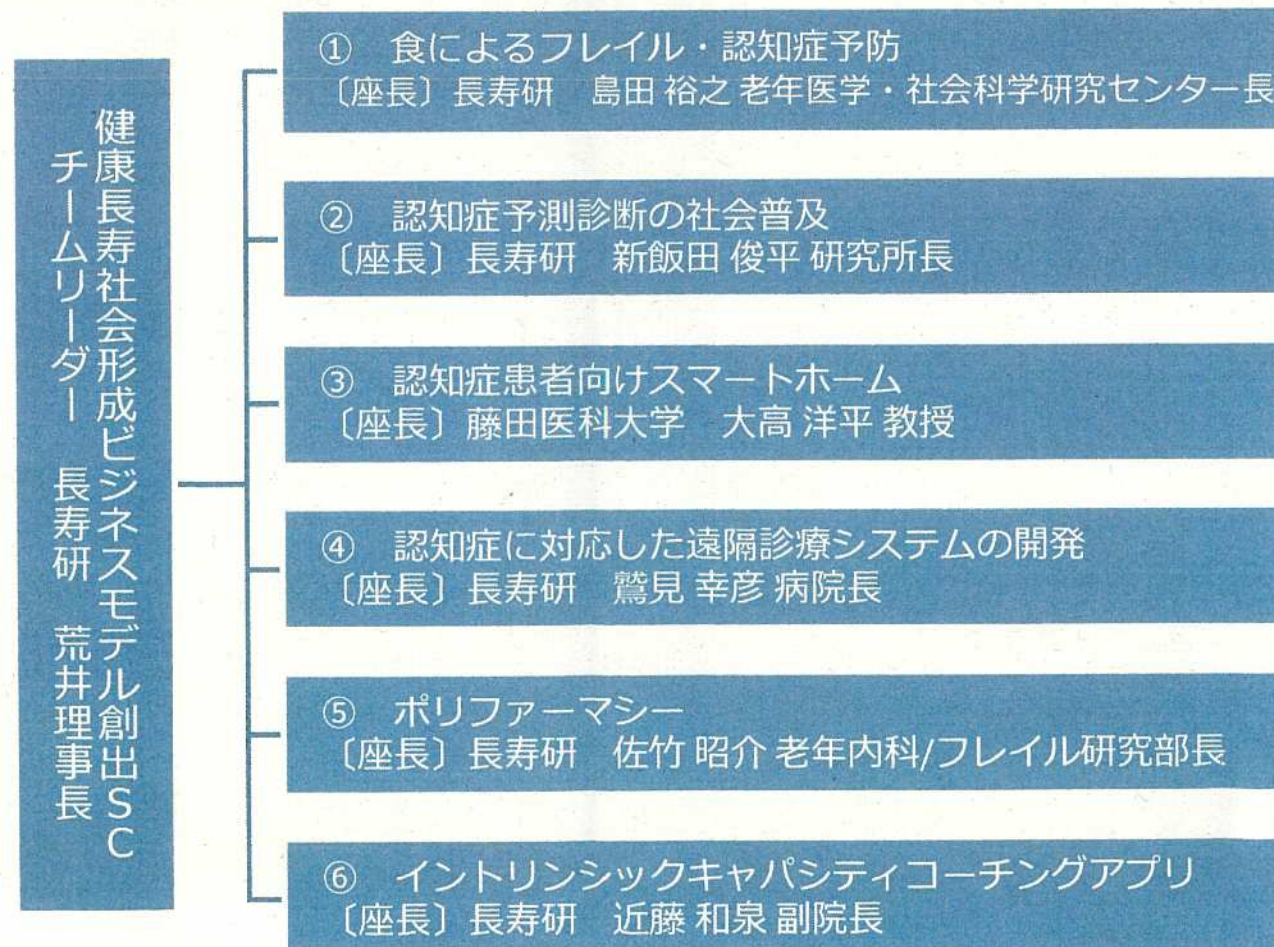
〔出口戦略の考え方〕

- 本調査の成果の速やかなる社会実装に向けて、あいちオレンジタウン構想の一環として具体化していく。



<国立長寿医療研究センター>

推進体制〔現在、以下の枠組で共同研究体制を構築することで調整中。確定した段階で別途記者発表予定。〕



<SCの役割>

- 健康長寿社会形成ビジネスモデルに関する情報共有
- 愛知県の他の取組み（あいちオレンジタウン構想第2期アクションプラン等）との効果的連携
- WGの進捗管理
- WG結果取りまとめ

開催スケジュール

- 第1回 2021年7月21日
(2021年8月頃)
- 第2回 2021年9月初旬
- 第3回 2021年10月初旬
(中間報告)
- 第4回 2022年1月
- 第5回 2022年3月
(最終報告会)

SCアジェンダ

- 本事業全体のゴールセット（社会課題の明確化）等
(各WGを随時設置)
- 共同研究テーマ具体化に向けた進捗確認及び意見交換
- WG別事業化計画の中間報告
- WG別進捗報告及びロードマップ案提出
- 結果報告（オレンジタウン構想第2期アクションプランへの調査結果のフィードバックについて）